



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 アイエーグループ 株式会社
 コード番号 7509 URL <http://www.ia-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 古川 教行
 (氏名) 岡野 良信
 TEL 045-821-7500

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,642	3.5	1,443	18.9	1,554	18.5	909	18.6
2019年3月期第3四半期	28,638	18.1	1,214	29.5	1,311	28.7	767	△17.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 944百万円 (14.9%) 2019年3月期第3四半期 822百万円 (△14.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	608.59	—
2019年3月期第3四半期	508.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	36,573	14,716	39.9
2019年3月期	32,236	14,047	43.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 14,579百万円 2019年3月期 13,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	60.00	—	100.00	160.00
2020年3月期	—	60.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,700	1.0	1,400	5.2	1,500	2.6	840	4.8	559.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,645,360 株	2019年3月期	1,645,360 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	154,703 株	2019年3月期	144,579 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	1,494,730 株	2019年3月期3Q	1,508,267 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

一方、個人消費につきましては雇用・所得環境に改善が見られるものの、2019年10月の消費税率の引き上げにより消費マインドが冷え込み、また相次ぐ自然災害と海外経済における通商問題の不確実性の高まりもあり、10-12月期の当第3四半期連結会計期間における消費環境は大変厳しい状況でありました。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は増収減益、ブライダル事業は増収増益となり、建設不動産事業は減収減益となりました。

なお、セグメント別の状況は下記の通りとなります。

(カー用品事業)

上期である第2四半期連結累計期間までにおいては、ドライブレコーダーの需要が商品売上を牽引するとともに、2019年10月からの消費税率の引き上げに備えた駆け込み需要が業績に対し大きく寄与いたしました。

しかしながら、10-12月期の当第3四半期連結会計期間においては、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動減に加え、全国的な暖冬によりスタッドレスタイヤ・タイヤチェーン等の冬季商品の需要が不振でありました。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては、前年同期と比べ増収減益となりました。

(ブライダル事業)

前期から受注活動を重点的に取り組んだことにより、今期の施行組数が増加した結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

(建設不動産事業)

高収益物件の戦略的な売却と、収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めましたが、前期に大型工事案件の引き渡し等を行ったことより、前年同期と比べ減収減益となりました。

(その他の事業)

売上面ではグループ内店舗の賃貸売上およびコメダ珈琲店舗の売上が寄与し、利益面では前期において不動産取得に伴う費用の計上等を行っていたことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

(総括)

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は29,642百万円(前年同期比3.5%増)となり、営業利益につきましては1,443百万円(前年同期比18.9%増)、経常利益につきましては1,554百万円(前年同期比18.5%増)となりました。これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、909百万円(前年同期比18.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は36,573百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,336百万円増加しました。

a. 流動資産

流動資産残高は、16,399百万円(前連結会計年度末比4,623百万円増)となりました。主な増加要因は現金及び預金の増加(2,729百万円増)であります。

b. 固定資産

固定資産残高は、20,174百万円(前連結会計年度末比286百万円減)となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少(442百万円減)によります。

c. 流動負債

流動負債残高は、13,924百万円(前連結会計年度末比3,925百万円増)となりました。主な増加要因は、買掛金の増加(2,601百万円増)であります。

d. 固定負債

固定負債残高は、7,932百万円(前連結会計年度末比257百万円減)となりました。主な減少要因は、長期借入金等の減少(312百万円減)によります。

e. 純資産

純資産残高は、14,716百万円(前連結会計年度末比668百万円増)となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加(670百万円増)であります。

自己資本比率は、39.9%となり前連結会計年度末比3.5ポイントの減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日の発表から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,418,674	4,147,922
売掛金	1,462,912	2,205,950
たな卸資産	7,916,194	9,121,742
その他	978,391	923,702
流動資産合計	11,776,173	16,399,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,927,480	7,484,864
土地	6,795,744	6,987,069
リース資産(純額)	80,686	73,684
建設仮勘定	10,637	3,046
その他(純額)	365,168	437,429
有形固定資産合計	15,179,718	14,986,094
無形固定資産		
電話加入権	9,258	9,258
のれん	7,095	-
その他	100,487	95,198
無形固定資産合計	116,841	104,456
投資その他の資産		
投資有価証券	130,443	117,827
長期貸付金	21,740	20,940
長期前払費用	169,568	159,422
差入保証金	3,207,811	3,145,692
繰延税金資産	1,509,534	1,510,602
その他	146,887	150,336
貸倒引当金	△21,740	△20,940
投資その他の資産合計	5,164,246	5,083,881
固定資産合計	20,460,805	20,174,432
資産合計	32,236,979	36,573,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,793,386	4,394,637
短期借入金	4,754,740	6,442,867
リース債務	66,915	58,078
未払法人税等	395,812	299,173
未払消費税等	234,291	239,843
未成工事受入金	17,255	50,990
賞与引当金	403,205	245,741
役員賞与引当金	69,700	-
ポイント引当金	49,364	-
その他	2,215,128	2,193,615
流動負債合計	9,999,799	13,924,948
固定負債		
長期借入金	4,906,788	4,594,555
リース債務	95,258	78,961
長期預り保証金	942,908	898,586
退職給付に係る負債	511,540	540,846
役員退職慰労引当金	454,400	532,702
資産除去債務	1,151,566	1,161,755
繰延税金負債	118,314	118,411
その他	8,874	6,574
固定負債合計	8,189,651	7,932,392
負債合計	18,189,450	21,857,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	11,305,442	11,975,597
自己株式	△495,328	△531,550
株主資本合計	13,949,004	14,582,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,896	31,495
退職給付に係る調整累計額	△37,362	△35,017
その他の包括利益累計額合計	△465	△3,522
非支配株主持分	98,989	136,993
純資産合計	14,047,528	14,716,409
負債純資産合計	32,236,979	36,573,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	28,638,083	29,642,095
売上原価	15,964,619	16,482,847
売上総利益	12,673,463	13,159,248
販売費及び一般管理費	11,459,292	11,715,892
営業利益	1,214,171	1,443,355
営業外収益		
受取利息及び配当金	18,492	13,126
受取手数料	52,031	61,673
受取家賃	16,195	14,597
その他	62,393	70,800
営業外収益合計	149,112	160,198
営業外費用		
支払利息	40,217	35,822
その他	11,318	12,746
営業外費用合計	51,535	48,568
経常利益	1,311,747	1,554,984
特別利益		
受取保険金	-	80,714
固定資産売却益	276	703
特別利益合計	276	81,417
特別損失		
固定資産除却損	2,710	5,256
災害損失	-	111,583
その他	-	2,487
特別損失合計	2,710	119,328
税金等調整前四半期純利益	1,309,314	1,517,074
法人税等	478,556	569,394
四半期純利益	830,757	947,680
非支配株主に帰属する四半期純利益	63,457	38,004
親会社株主に帰属する四半期純利益	767,300	909,675

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	830,757	947,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,651	△5,401
繰延ヘッジ損益	229	-
退職給付に係る調整額	-	2,344
その他の包括利益合計	△8,422	△3,056
四半期包括利益	822,335	944,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	758,877	906,619
非支配株主に係る四半期包括利益	63,457	38,004

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,099,150	6,100,592	2,191,310	28,391,053	247,029	28,638,083	—	28,638,083
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,437	350	241,489	244,276	975,275	1,219,551	△ 1,219,551	—
計	20,101,588	6,100,942	2,432,799	28,635,330	1,222,304	29,857,634	△ 1,219,551	28,638,083
セグメント利益又は損失(△)	1,179,558	△ 193,834	276,605	1,262,329	△ 50,089	1,212,239	1,931	1,214,171

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,521,997	6,968,892	1,900,349	29,391,239	250,856	29,642,095	—	29,642,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,380	100	186,894	196,375	1,037,240	1,233,615	△ 1,233,615	—
計	20,531,377	6,968,992	2,087,244	29,587,614	1,288,096	30,875,711	△ 1,233,615	29,642,095
セグメント利益又は損失(△)	1,097,364	160,442	213,502	1,471,309	△ 31,381	1,439,928	3,426	1,443,355

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。